シンポジウム 3

倫理・プロフェッショナリズムの方略新時代

座　長
木尾哲朗[1)]

演　者
角　忠輝[2)]　田代宗嗣[3)]　平田創一郎[3)]

企画の意図

木尾哲朗

プロフェッショナリズムには，Stren らに代表されるような「臨床能力を含む広義の捉え方」と CanMEDS や歯学教育モデル・コア・カリキュラムに代表されるような「医療人の言動や振る舞いという狭義の捉え方」がある．今回のシンポジウムでは後者の捉え方をしており，Bloom の開発した教育目標分類では「興味，価値観，習慣等の意思や正しい判断力の発達」を目標とする情意領域に属している．この情意領域の教育は，信頼や安全性につながるという点で，近年の医療者教育では重要性を増している．

日本歯科医学教育学会教育方略委員会（旧倫理・プロフェッショナリズム教育委員会）では，平成 16 年の第 23 回大会より一貫して医の倫理や社会歯科に関する教育の発信を行っており，ここ 10 年では，第 31 回岡山大会，第 33 回北九州大会，第 37 回郡山大会でのシンポジウムや，第 34 回鹿児島大会と第 36 回松本大会開催に併せてワークショップを実施し，本教育についての提案を行ってきた．昨秋には教育教材「プロフェッション・ワークブック」を上梓し，今春には歯科医療倫理学修教材「落し物はヒトの歯」を作成した．今春は折しも COVID-19 による歯科学生の自宅待機が行われていたことから，前作の「入れ歯はひとつ」とあわせて 29 大学の遠隔講義の教育資源となるように提供した．

今回，本教育をより深く理解するために，私から当委員会のこれまでの活動について述べ，続いて角　忠輝委員より，令和元年夏に当委員会の前身である倫理・プロフェッショナリズム委員会が上梓したワークブックの紹介と構造的省察等の活用方法について解説していただき，続いて田代宗嗣先生より第 1 作目の教材「入れ歯はひとつ」の活用について具体的に述べていただいた．最後に平田創一郎委員長に今春完成した 2 作目の教材「落し物はヒトの歯」の紹介と活用法のポイントについて解説していただいた．

COVID-19 の影響により，会員諸氏との活発な意見交換ができないことは残念であるが，今回のシンポジウムは効果的なプロフェッショナリズム教育とその教育資源の開発には，継続的な発信と具体的な意見交換が不可欠であるとの視点から実施するものである．教員諸氏がプロフェッショナリズム教育の理解をより深め，充実した歯学教育を行う一助となることを期待したい．

「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育　プロフェッションワークブック」の活用法

角　忠輝

日本歯科医学教育学会倫理・プロフェッショナリズム教育委員会（現教育方略委員会）では，歯学教育における倫理およびプロフェッショナリズム教育に資することを目的として「2013 年度版良き歯科医師になるための 20 の質問　倫理的事例検討集」を作成し，また，その活用状況について「全国歯科大学・歯学部における「2013 年度版良き歯科医師になるための 20 の質問　倫理的事例検討集」の利用状況」（山本ら，日歯教誌 2016；32：93-9）にて報告を行った．本報告によれば，上記事例集は全国歯科大学・歯学部 29 校中 10 校（34.5%）で使用されており，1〜5 年生の各学年で講義形式よりも主に演習，PBL または TBL にて用いられていた．

その後，第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会（平成 27 年）において，ワークショップ「倫理的検討事例を用いたプロフェッショナリズム教育の展開」が開催された．この際の事後アンケートを見ると，シナ

1) 九州歯科大学総合診療学分野
2) 長崎大学生命医科学域総合歯科臨床教育学分野
3) 東京歯科大学社会歯科学講座